

2 隣接地域における啓発活動の現状と課題

（2）啓発施設の現状と課題

- ・ 以上を通じて全体として、施設自体の老朽化への対応、展示方法・展示物のリニューアルやデジタル活用、複数施設間の位置付けと連携の明確化（複数施設で共通して持つべき情報発信の内容・機能と個別の施設の特徴や環境を活かした魅力づくり）、初心者にも分かりやすく・親しみやすい展示等の課題がある。

3 対応策の検討の方向性

（1）施設自体の老朽化への対応

- ・ 建物の老朽化への対応には準備・着手に時間がかかることから一部先行的・並行的に取り組む必要（建替え、補修などの検討）
- ・ 特に、北方領土館（標津町）については、老朽化が著しいことから建替えに向け、新たな施設の基本構想・基本計画の検討・策定のための経費を令和8年度内閣府予算案に盛り込んだところである。
なお、基本構想・基本計画の検討・策定に当たっては、例えば、標津町役場、千島連盟標津支部その他の関係者によるワーキングチームなどを設け、新たな施設の開設後の地元における運営も見据えた様々な検討や意見の集約が必要である。その際、建替えの新たな場所については、来館者増や来館者の利便性の向上の観点などから、標津サーモン科学館などとの連携強化を意識しつつ検討を行うことが望ましいのではないかと。